

ざっくり  
黙示録

①

# 栄光の キリスト

黙示録1章

## 【今日のアウトライン】

### 0. 聖書の世界観・終末観

#### I. 黙示録とは？

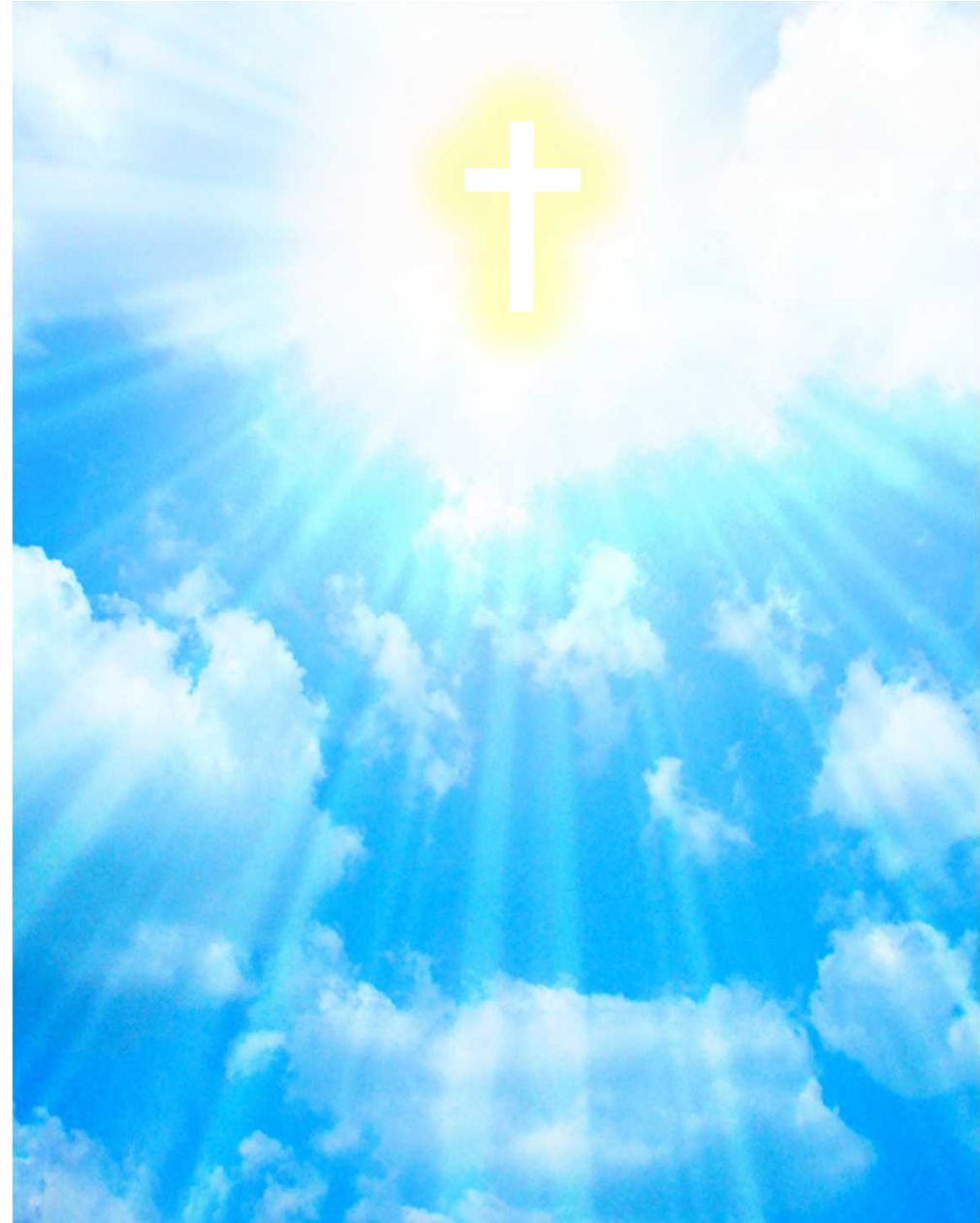
#### II. 序文 1章1～8節

黙示録を実際に読んでみよう!!

#### IV. まとめと適用

～休憩～

#### V. 質問コーナー ♪



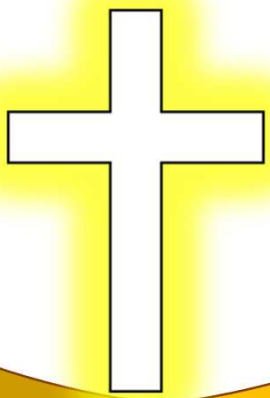
# 0. 聖書の記す世界観・終末観



**【聖書の世界観には、初めがあり、終わりがある】**

天地創造  
人類の墮罪

キリストの  
十字架の  
死と復活



世界の回復  
キリストの  
再臨

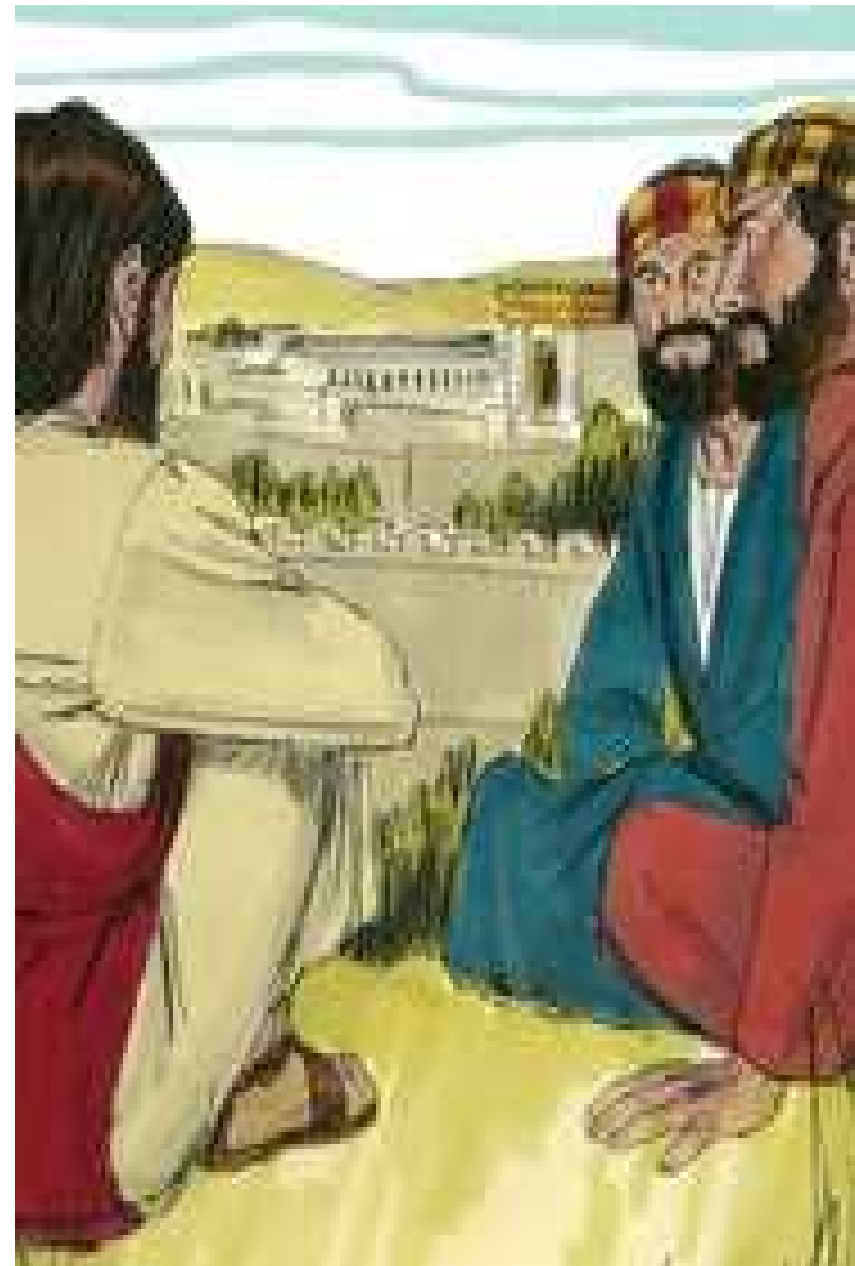
これから起きること

今の時代(教会時代)

**～ゴールは、世界の回復。理想世界の実現～**

## 【聖書が教える今の時代とは？】

- イエスは、十字架の死と復活によって、悪魔に勝利したが、まだ正式に、地上の王になっていない。
- 悪魔が地上を不法占拠している状況。
- 世の中は、悪くなっていく一方。  
「方々で戦争が起こり、偽キリストが大勢現れる。」  
イエスの警告(マタイ24:5～6)



## 【聖書の終末観と救いの原則】

■ 人は、ただ、イエスを救い主と信じて救われる。

■ 全ての人に、救いの手が差し伸べられている。  
⇒ 応答した人は、その瞬間に救われる。

■ 世界の回復は、再臨のイエスがなされる。  
⇒ それがいつかは、誰も分からない!!

↑  
人間の努力で、終末が早まることはない!!



## 【なぜイエスは、すぐに来ないのか？】

■再臨のイエスは、**王の王、主の主**、**「裁き主」**として来る。

■その時、あらゆる悪は裁かれる。  
裁きを免れる人は、一人もいない。

■一人でも多くの人が、  
福音を**信じて**救われるための、  
“猶予期間”が、今の時代!!

イエスが来られる前か、あなたが死ぬ前に、  
福音を信じなさい、ということ!!



# I. 黙示録とは？





# 【様々な終末論の元ネタが、聖書】



【ハルマゲドン、とは？】

「黙 16:16 こうして汚れた霊どもは、ヘブル語でハルマゲドンと呼ばれる場所に王たちを集めた。」

★「最終戦争」という意味で用いられる。

★ハル・メギド＝「メギドの丘」

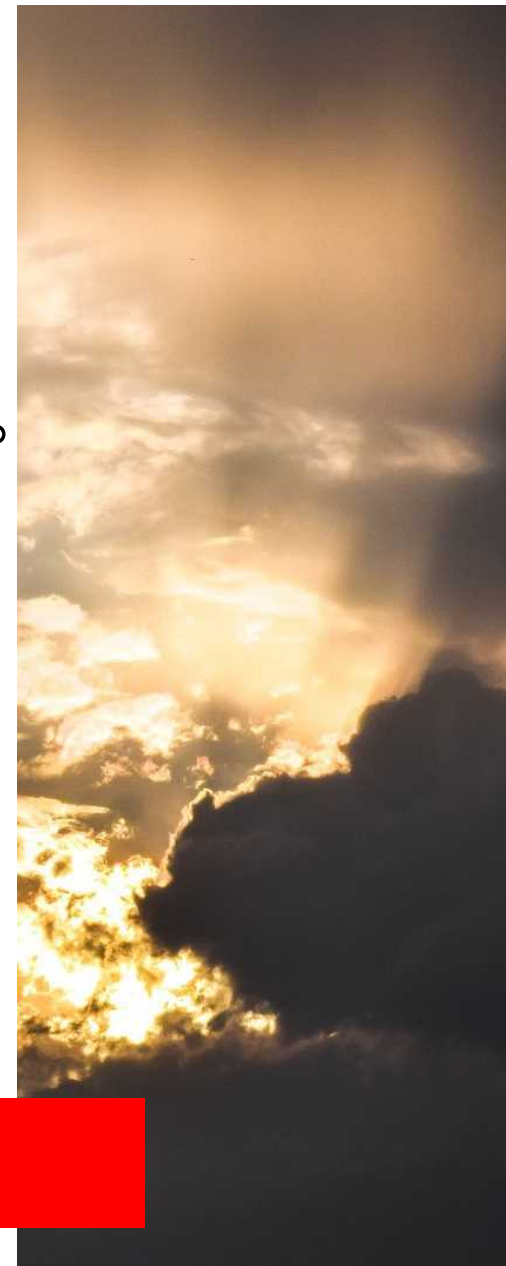
イスラエル北部に、実際にある要塞の遺跡。  
広大な平野を見渡す、古代から交通の要所。

★世界中の軍隊がユダヤ人殲滅のために集結するという地。

## 【黙示録とは？】

- 新約聖書の最後の書物。
- 「世の終わりに、何がおきるのか？」  
⇒ 旧約聖書の様々な終末預言を時系列に並べたもの。
- 難解で比喩的な表現が多く、  
旧約聖書のルールが分からないと、理解不能。
- 様々なグループが、黙示録を好き勝手に解釈し、  
様々な終末論が生まれてきた。 ➡カルトも大好き!!

**黙示録は、聖書の終末預言の集大成!!**



★ イスラエルの歩み ★

【千年王国】

黙示録

メシア再臨

【大患難時代】

異邦人の時

エルサレム陥落 70

メシア初臨

【中間時代】

帰還・再建 前538

バビロン捕囚 前587

新しい契約

北イスラエル滅亡 前722

南北分裂 前950

【王国時代】

ダビデ契約

【カナン定着・士師時代】

土地の契約

【荒野の四〇年】

モーセ契約

【エジプト奴隷の四〇〇年】

出エジプト 前1290

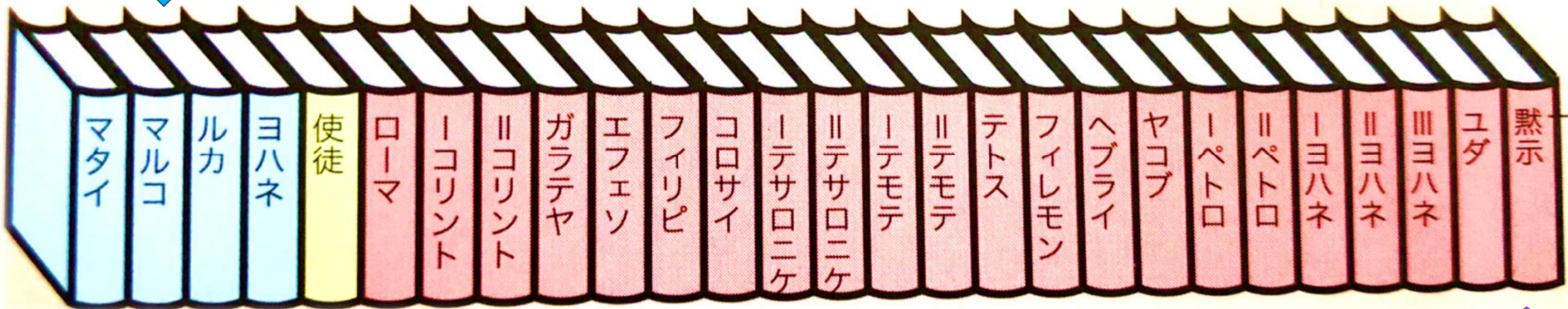
【族長時代】

アブラハム契約

# 【新約聖書の中の黙示録】

【福音書】  
メシアの生涯

【書簡・手紙】 使徒たちによる手紙 メシアの教え



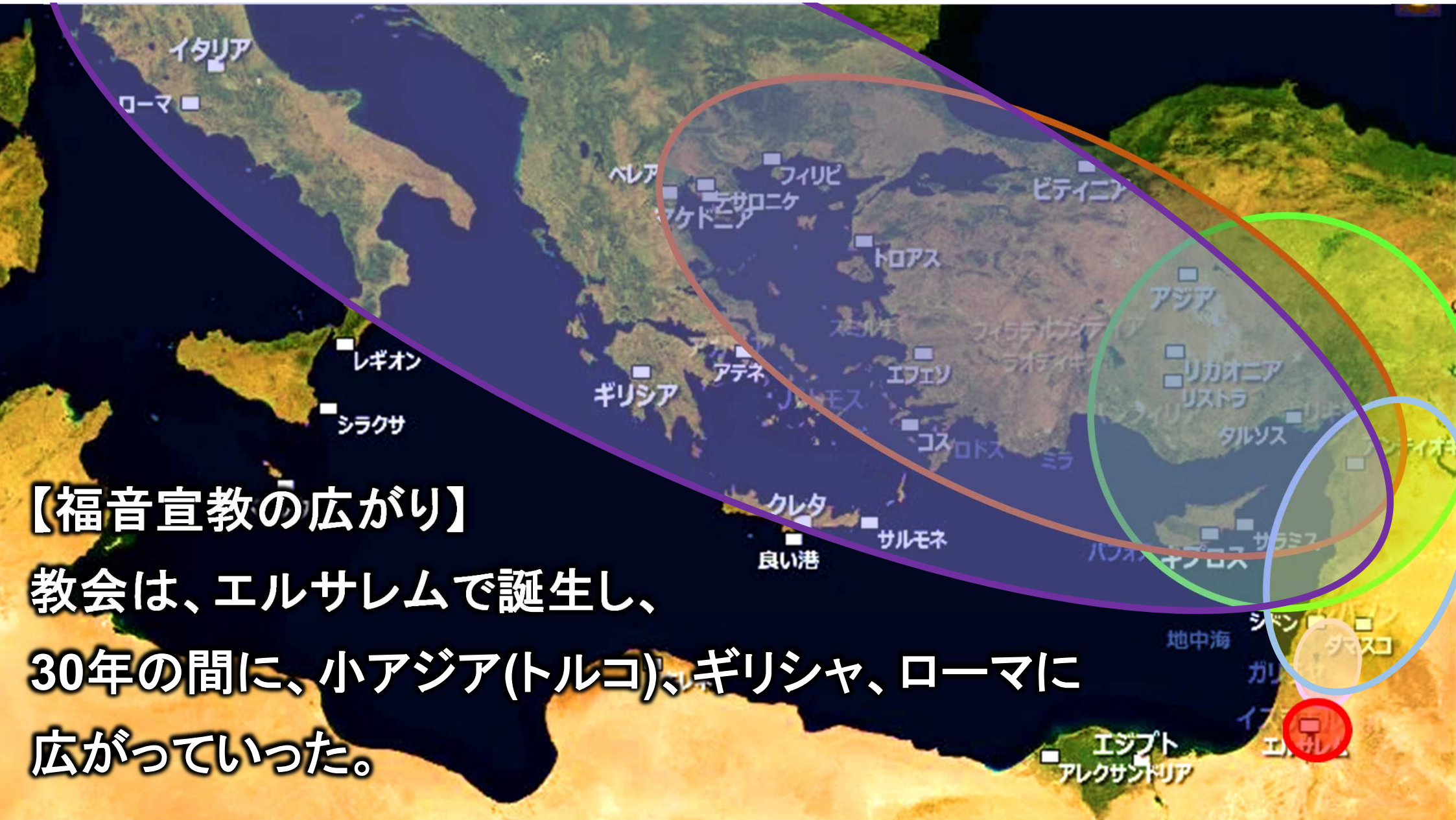
【使徒行伝】  
教会の歴史(最初期)  
福音の広がり

【黙示録】  
聖書預言の集大成  
終末預言

## 【黙示録について】

- 著者 ... 十二使徒の一人、ヨハネ。
- 年代 ... AD95年頃に、流刑先のパトモス島で記述。
  - ➡ 主イエスの十字架と復活から、約65年後。  
(「使徒の働き」のラストから35年後)
  - ➡ ローマによるエルサレム陥落(70年)の後。
- 背景 ... ローマ帝国の迫害が強まり、多くの殉教者も。  
2世代目のクリスチャンが主流に。
- 目的 ... 迫害に直面している信者の励まし
  - ① 終末の希望をもって迫害を耐え忍ぶ。
  - ② 終わりの日に、悪は必ず裁かれ、  
主イエスが王の王となって、世界を統治する。





## 【福音宣教の広がり】

教会は、エルサレムで誕生し、

30年の間に、小アジア(トルコ)、ギリシャ、ローマに

広がっていった。



## 【福音宣教の広がり】

教会は、エルサレムで誕生し、  
30年の間に、小アジア(トルコ)、ギリシャ、ローマに  
広がっていった。



## 【著者：使徒ヨハネのプロフィール】

■ イエスの12弟子で最年少。最後まで生き残る。

■ 兄ヤコブは、最初に殉教。(マタ20:21~23)

■ 元漁師。ペテロ、アンデレとは仕事仲間。

■ 母サロメは、マリアの姉妹。イエスとは従兄弟。

■ 洗礼者ヨハネの弟子から、イエスの弟子となる。

■ ペテロ、ヤコブと共に、三人の重要な弟子の一人。

■ イエスの母マリアと、養子縁組をした。

■ 聖霊降臨以降は、ペテロと行動を共にする。

■ 伝承では、エペソに移住。パトモス島に流刑中に黙示録を記述。

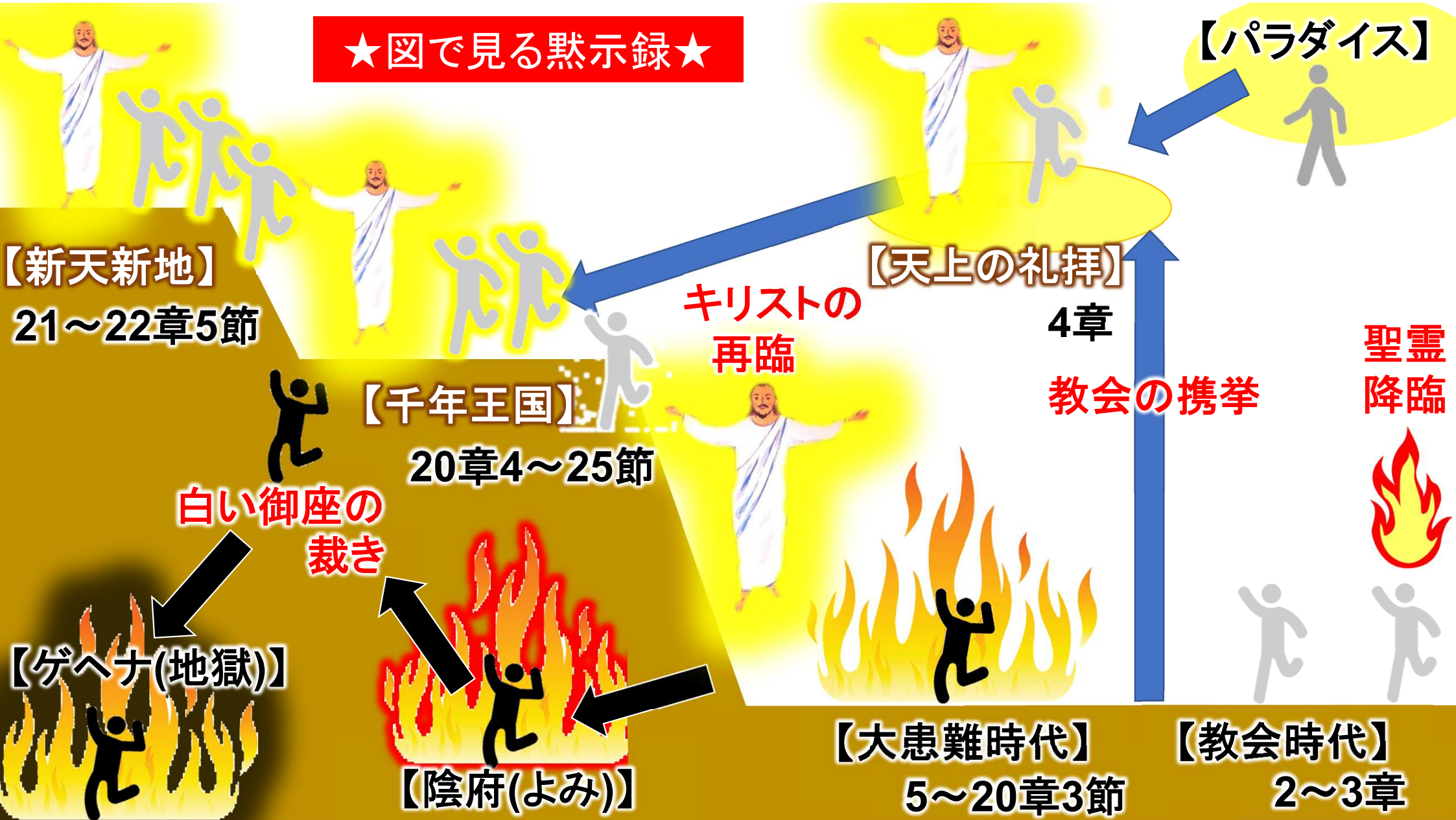
■ エペソに戻り、死んだ。



## 黙示録アウトライン

序 文	栄光のキリストとの遭遇	1章
教会時代(現在)	教会への励ましと警告	2～3章
天上の礼拝	教会の携挙～天上の礼拝	4章
大艱難時代	大艱難時代に起こること キリストの再臨	5章～20章3節
千年王国	千年王国の様子 白い御座の裁き(最終的裁き)	20章4節～25節
新天新地	地に降る天のエルサレム 永遠の神の王国	21章1節～22章5節
結 論	イエスの宣言と招き 警告と約束	22章6～21節

★図で見る黙示録★



## Ⅱ. 序文 黙示録1章1～8節

実際に、黙示録を読んでいこう!!

## 【イエス・キリストの黙示(啓示)】 黙1:1

イエス・キリストの黙示\*。神はすぐに起こるべきこと\*をしもべたちに示すため、これをキリストに与えられた。そしてキリストは、御使いを遣わして、これをしもべヨハネに告げられた。

\* 黙示(アポカリプシス) ...「覆いをとる、啓示」という意味。

つまり、「イエス・キリストが明らかにしたこと」

\* すぐに起こる ...神の時が来たなら、すぐに!!

➡聖書の神は、時間を超越した存在

■クリスチャンには、キリストが明らかにされた世の終わりを、人々に知らせる使命がある!!

黙示録は秘密の書ではない

人々に明らかにすべき書!!



## 【黙示録を学ぶ祝福】 黙1:2~3

ヨハネは、神のことば\*とイエス・キリストの証し\*、すなわち、自分が見たすべてのこと\*を証しした。この預言のことばを朗読する者と、それを聞いて、そこに書かれていることを守る者たちは、幸いである。時が近づいているからである。

\*ヨハネの証言が、黙示録  
...神のメッセンジャー、目撃証人として

- 主を信じるすべての人への強い促し。  
➡ 学ぶことに、祝福が直接約束された書。
- 黙示録が記すのは、いつか起こることではなく、  
➡ いつ始まって、おかしくないこと!!



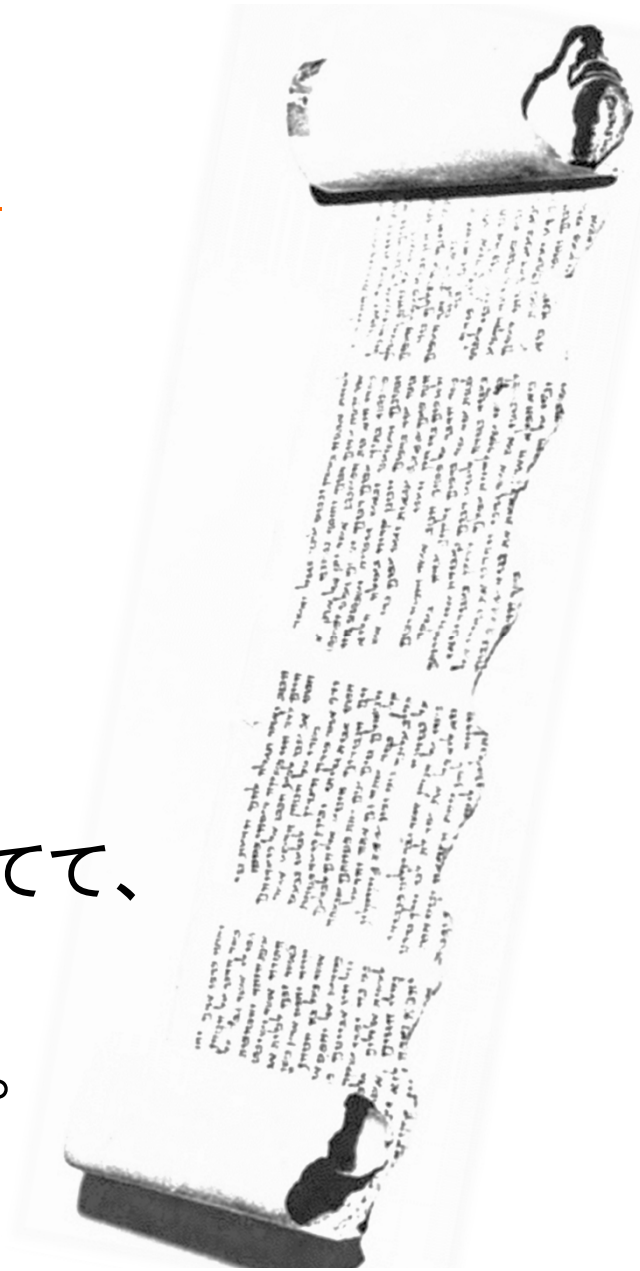
## 【黙示録の宛先・真の著者】 黙1:4~5

ヨハネから、アジアにある七つの教会へ\*。今おられ、昔おられ、やがて来られる方から、また、その御座の前におられる七つの御霊から、また、確かな証人、死者の中から最初に生まれた方、地の王たちの支配者であるイエス・キリストから、恵みと平安があなたにあらうように。

\* ローマ支配下のアジア州(トルコ)の7つの教会に宛てて、すべての教会を意識して書かれた。

■ 完全に独立しながら、完全に一つの三位一体の神。

\* 父なる神 \* 聖霊なる神 \* 子なる神・キリスト



## 【イエス・キリストへの賛歌】 黙1:5~6

私たちを愛し、その血によって私たちを罪から解放し、  
また、ご自分の父である神のために、私たちを王国とし、  
祭司としてくださった\*方に、栄光と力が世々限りなくある  
ように。アーメン。

( \*アオリスト形 ...過去に一度きり、起こったこと。 )

- キリストは、私たちの罪のために十字架にかけられ、  
葬られ、死を打ち破って復活された。
- キリストは、信じた者を罪と死の束縛から解放され、  
神の怒りと永遠の滅びから救われた。
- キリストは、すべての信者を回復された世界に招き入れる。

信者である私たちは、王国の共同統治者、神に仕える祭司





## 【イエスの再臨の予告】 黙1:7

見よ、その方は雲とともに来られる。\* すべての目が彼を見る。彼を突き刺した者たち\*さえも。地のすべての部族は彼のゆえに胸をたたいて悲しむ。しかり、アーメン。

\* 主イエスは、**栄光**を帯びた神として来る。

世界中の人が、再臨のイエスの姿を目撃する。

➡世の“自称キリスト”は、すべてニセ者!!

\* ユダヤ人のこと。 ➡民族的悔い改めにいたる。

■ 最後まで、主イエスを信じなかったすべての人は、再臨の主に、裁きが近いことを知り、嘆き悲しむ。



## 【全能なる神イエス】 黙1:8

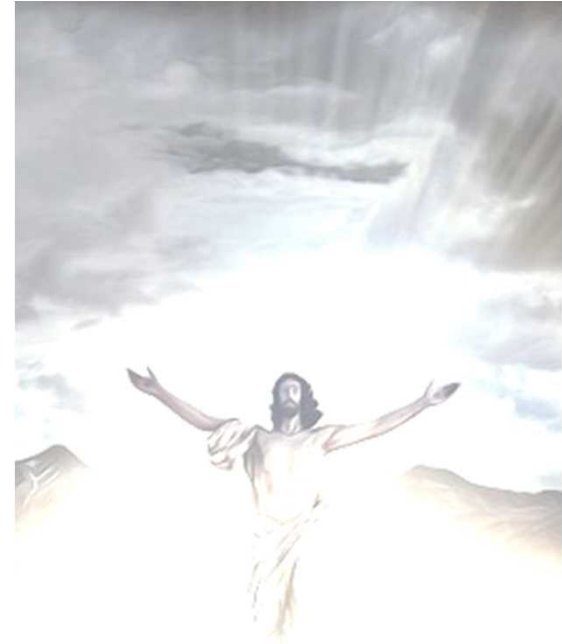
神である主、今おられ、昔おられ、やがて来られる方、全能者がこう言われる。「わたしはアルファであり、オメガである。\*」

\* アルファ( $\alpha$ )であり、オメガ( $\omega$ )    ➡ Aであり、Zである。  
(=はじめであり、終わりである)    ➡ 永遠である。

■ 永遠である    ➡ 時間を超越した存在。時の創造主。

■ イエス・キリストは、神であり、時間を超越した永遠の存在であり、王として来られる方であり、天地万物を支配される、全能者である。

キリストは、  
万物を支配される、  
永遠の神である



# Ⅲ. 栄光のキリスト

黙示録1章9～20節



## 【ヨハネに現れた主の栄光】 黙1:9～11

私ヨハネは、あなたがたの兄弟で、あなたがたとともにイエスにある苦難と御国と忍耐にあずかっている者であり、神のことばとイエスの証しのゆえに、パトモス\*という島にいた。私は主の日\*に御霊に捕らえられ、私のうしろにラツパのような大きな声を聞いた。

■ ローマ皇帝ドミティアヌスの迫害が苛烈だった。

信者には、地上においては試練と患難がある。

\* パトモス島 ...エーゲ海のに浮かぶ流刑の島

ヨハネは鉱山で強制労働についていた?!

\* 主の日 ...“主なる日” 神の栄光が現れた特別な日



## 【ヨハネに現れた主の栄光】 黙1:9～11

私ヨハネは、あなたがたの兄弟で、あなたがたとともにイエスにある苦難と御国と忍耐\*にあずかっている者であり、神のことばとイエスの証しのゆえに、パトモス\*という島にいた。私は主の日\*に御霊に捕らえられ、私のうしろにラツパのような大きな声を聞いた。

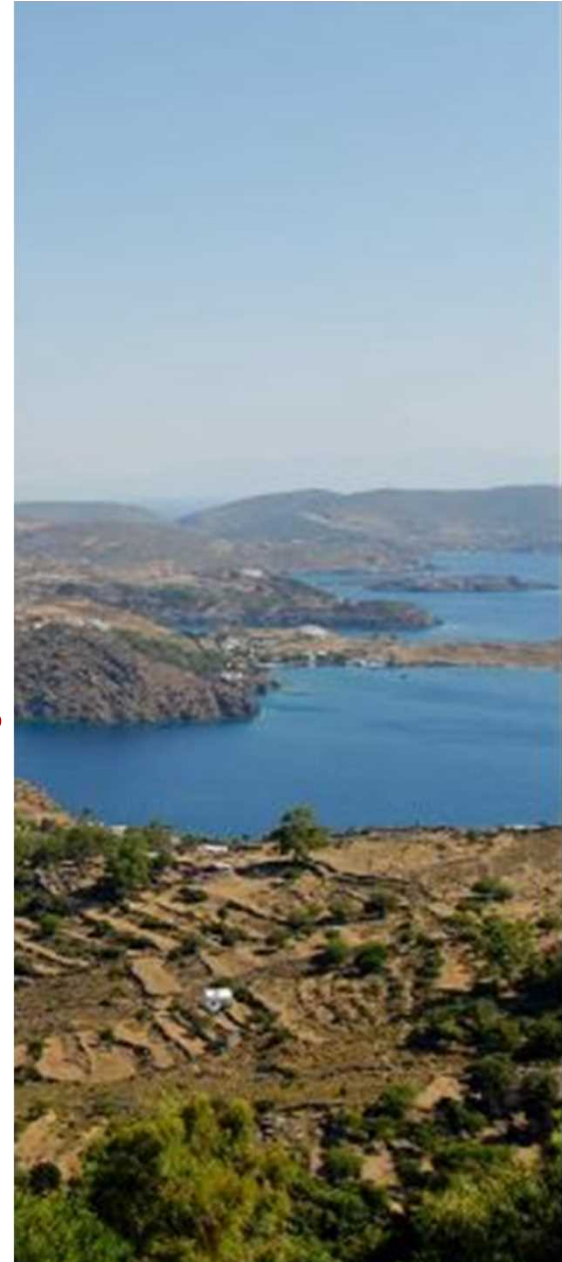
\* 信者には、地上では、苦難があり、忍耐が求められる。

➡ローマ皇帝ドミティアヌスによる苛烈な迫害

\* パトモス島 ...エーゲ海のに浮かぶ流刑の島

➡ヨハネは鉱山で強制労働についていた?!

\* 主の日 ...“主なる日” 神の栄光が現れた特別な日  
来たるべき日。神の目にはすでに起こっていること!!







## 【7つの教会へ】 黙1:11

その声はこう言った。

「あなたが見たことを巻物に記して、七つの教会、すなわち、エペソ、スミルナ、ペルガモン、ティアティラ、サルデイス、フィラデルフィア、ラオディキアに送りなさい。」





## 【七つの燭台の中心に立つメシア】 黙1:12～13

私は、自分に語りかける声を見ようとして振り向いた。振り向くと、七つの金の燭台\*が見えた。また、その燭台の真ん中に、人の子のような方\*が見えた。その方は、足まで垂れた衣\*をまとい、胸に金の帯\*を締めていた。

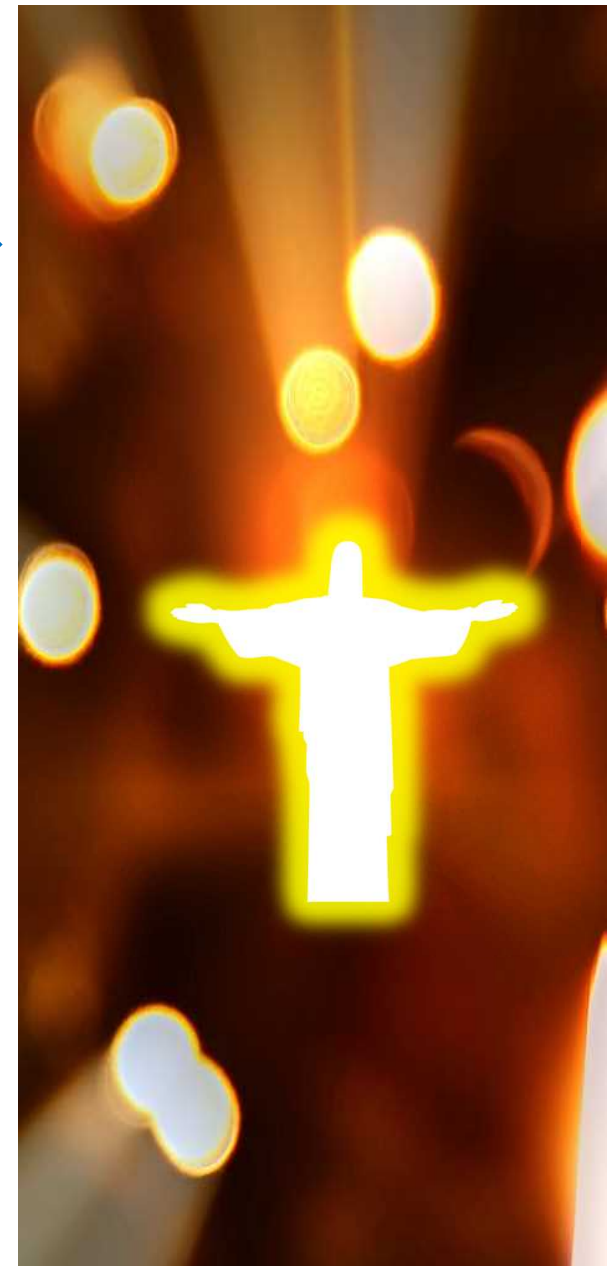
\* 七つの金の燭台 ➡ 七つの教会(20節)

\* 人の子 ➡ メシアの称号。

「ダニエル 7:13 私がまた、夜の幻を見ていると、見よ、人の子のような方が天の雲とともに来られた。」

\* 足まで垂れた衣 ➡ 裁き主(裁判官)の姿

金の帯 ➡ 正義をもって裁くことの象徴



## 【裁き主なるキリスト①】 黙1:14～15

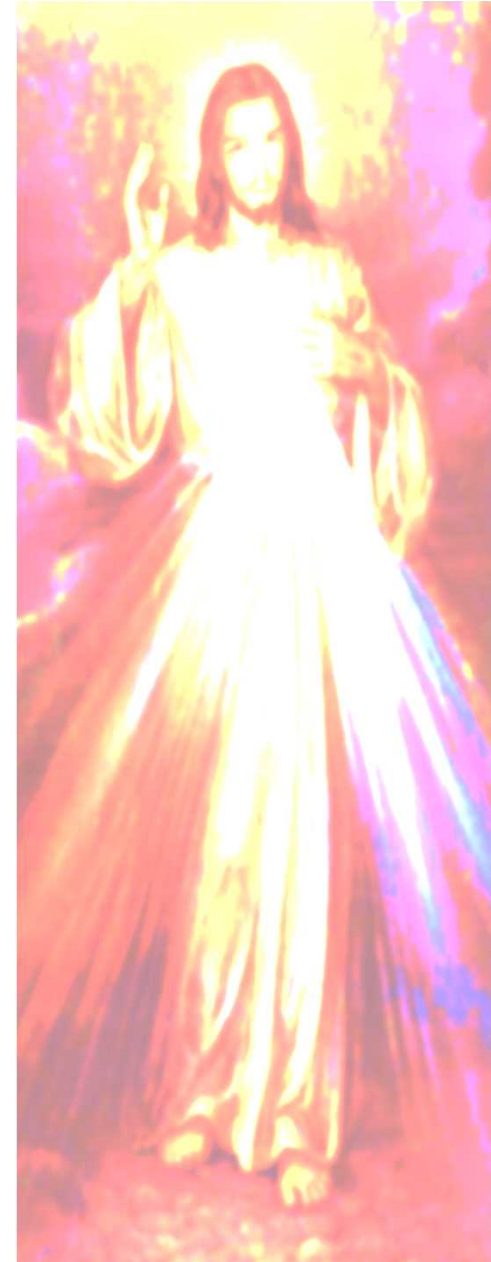
「その頭と髪は白い羊毛のように、また雪のように白く、\*  
その目は燃える炎のよう\*であった。」

\* 白い羊毛・雪のように白い ... “神の清さ”を表す

「ダニ 7:9 私が見ていると、やがていくつかの御座が備えられ、『年を経た方\*』が座に着かれた。その衣は雪のように白く、頭髪は混じりけのない羊の毛のよう。」

➡メシアは、“父なる神\*と等しい清さ”をもっている。

\* 目は燃える炎のよう ...すべてを見透かす“裁き主の目”

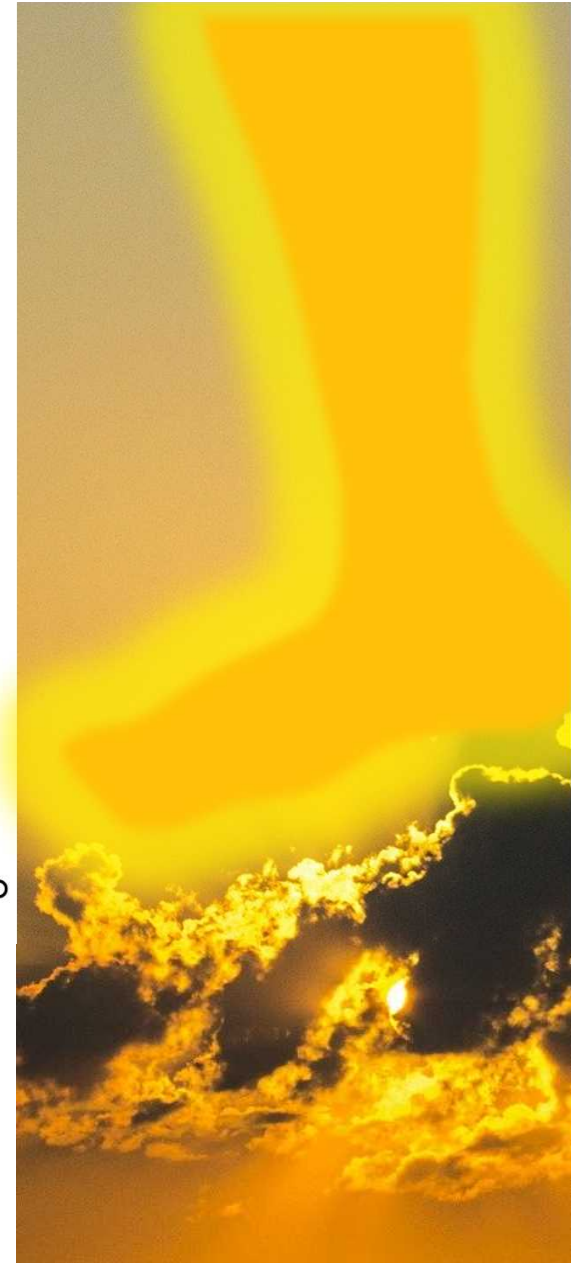


## 【裁き主なるキリスト②】 黙1:15

「その足は、炉で精錬された、光り輝く真鍮のよう\*で、  
その声は大水のとどろきのようであった。」

\* 真鍮(カルコリバン) ...青銅か？ 幕屋・神殿で、  
(黙1:15と2:18のみ) 犠牲を捧げた祭壇は青銅。  
➡十字架の受難を通過して“精錬された裁き主”の姿

\* 大水のとどろき ...大水も、力ある“神の裁き”の象徴。  
全世界を裁く、権威ある神の声。  
「詩 93:4 大水のとどろきにまさり力強い海の波にもまさって【主】は力に満ちておられます。いと高き所で。」



## 【裁き主なるキリスト③】 黙1:16

また、右手\*に七つの星を持ち\*、口から鋭い両刃の剣\*が出ていて、顔は強く照り輝く太陽のよう\*であった。

\* **右手** ...右(=権威)。

\* **七つの星** ...7つの教会の7人の天使たち(20節)

\* **両刃の剣** ...神のことば

「ヘブル 4:12 神のことばは生きていて、力があり、両刃の剣よりも鋭く、たましいと霊、関節と骨髄を分けるまでに刺し貫き、心の思いやはかりごとを見分けることができます。」

\* **太陽のような顔** ...神の栄光(シャカイナグローリー)

**栄光のキリストは、権威をもって、教会を所有する!!**



## 【裁き主なるキリスト④】 黙1:17～18

この方を見たとき、私は死んだ者のように\*、その足もとに倒れ込んだ。すると、その方は私の上に右手を置いて言われた。「恐れることはない。わたしは初めであり、終わり\*であり、生きている者である。わたしは死んだが、見よ、世々限りなく生きている。また、死とよみの鍵を持っている。\*」

- \* 死んだ者のように ... 真実の神と出会った人の反応。  
己の罪深さを思い知らされた結果。
- \* 初めであり、終わり = アルファであり、オメガ。  
時間を超越した永遠の存在。
- \* 死とよみの鍵 ... 死と死者の世界を支配する権威。



## 【黙示録のテーマ】 黙1:19～20

それゆえ、あなたが見たこと、\* 今あること、\* この後起ころうとしていること\* を書き記せ。

あなたがわたしの右手に見た七つの星と、七つの金の燭台の、秘められた意味について。七つの星は七つの教会の御使いたち、七つの燭台は七つの教会である。

①あなたが見たこと(1章) ...裁き主なる栄光のキリスト

②今あること(2～3章) ...教会時代の教会への警告

③この後起ころうとしていること(4～22章)

...携拳、大患難時代、再臨、千年王国、新天新地。



## 黙示録アウトライン

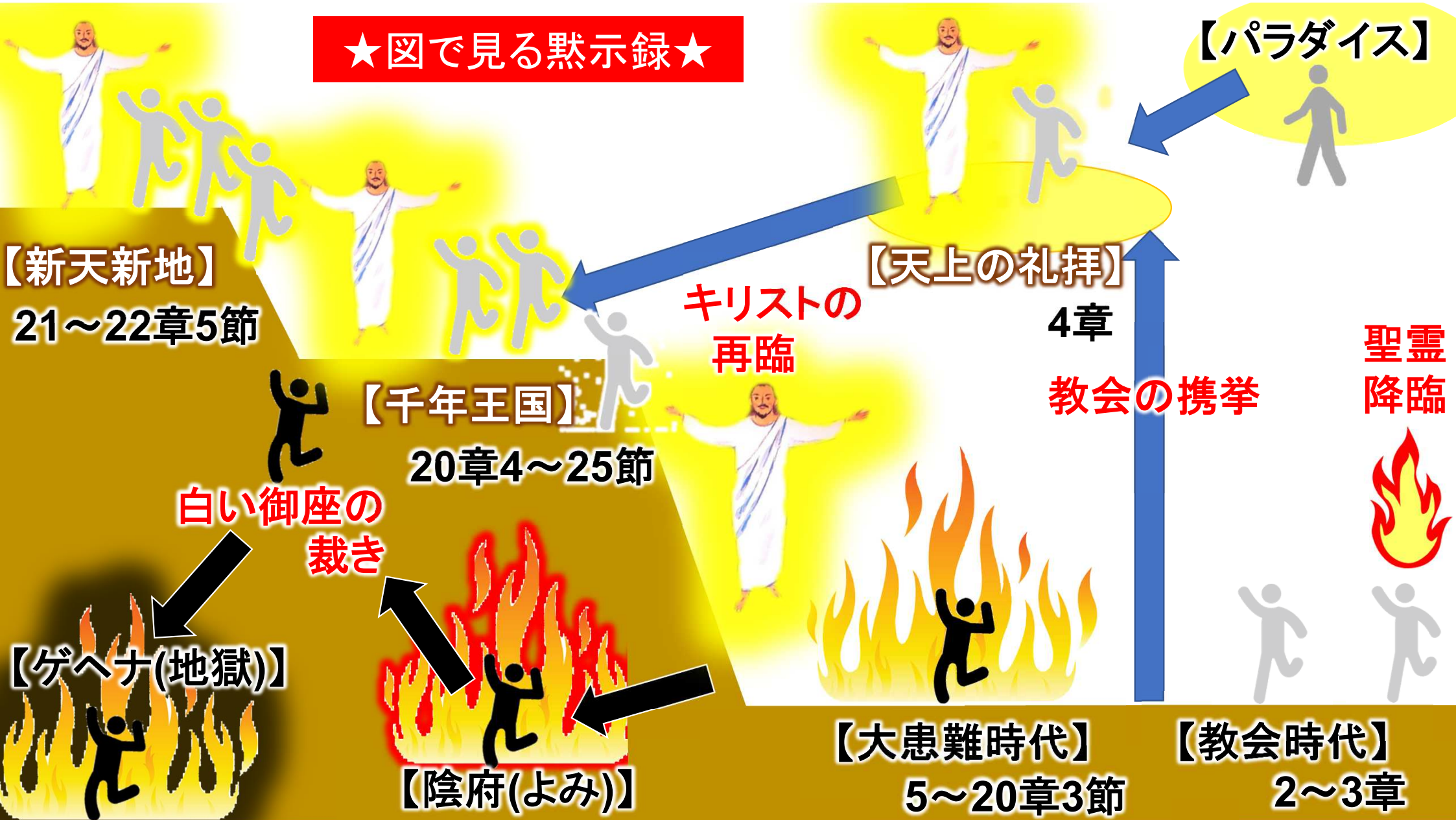
見たこと

今あること

これから  
起きること

序 文	栄光のキリストとの遭遇	1章
教会時代(現在)	教会への励ましと警告	2～3章
天上の礼拝	教会の携挙～天上の礼拝	4章
大艱難時代	大艱難時代に起こること キリストの再臨	5章～20 章
千年王国	千年王国の様子 白い御座の裁き(最終的裁き)	20章
新天新地	地に降る天のエルサレム 永遠の神の王国	21～22章
結 論	イエスの宣言と招き	22章

★図で見る黙示録★





# IV. まとめと適用

黙示録1章9～20節



## 【イエス・キリストは今？】

「あなたがたは、どうして生きている方を死人の中に捜すのですか。ここにはおられません。よみがえられたのです。」 ルカ24:5～6

## 【栄光のキリストを仰ぎ見よう!!】

- キリストは、時間を超越し、生きておられる。
- 死に完全に勝利され、陰府すら支配されている。
- キリストは、すべての天使を忠実に従わせ、すべての教会を、その手に所有されている。
- キリストは、まったくきよい方。裁き主。
- キリストは、御言葉によって、すべてを裁かれる。



## 【黙示録1章から教えられること】

- 黙示録は、「イエス・キリストが明らかにされた啓示の書」
- “今を生きるすべての人が知るべきこと” であり、  
すべてのクリスチャンには、この内容を伝える責務と使命がある。
- 十字架でわたしの罪をあがない、死を打ち破って復活した主イエスは、裁き主として帰ってこられ、全地の王となる。
- 神の時は着実に近づいている。心の備えが求められる。
- 求められる備えとは、福音を信じ、主イエスに従って生きること。

## 【聖書がすべての人に求めていること】

■福音を信じること。

■福音(=よい知らせ)とは、三つの要素からなる一つのこと。

すなわち、主イエス・キリストは、

①わたしの罪のために十字架にかけられ、

②死んで葬られ、

③三日目に、死を打ち破って復活された。

キリストは、今も生きておられ、わたしを救うことができる。

■この福音を信じ、イエス・キリストを、信頼して受け入れるなら、その瞬間、永遠の滅び、神の怒りから、恵みによって救われる。

## 【聖書がすべての人に求めていること】

■ “福音”を信じること。

■ “福音を信じた者に約束された将来”を信じること。

■ 私たちの知るべきことは、聖書に、すべて、すでに、記されている。  
この聖書の権威を信じて、学び、理解を深めていくこと。

■ 神の約束、計画について学び、理解を深めるについて、  
信じた者に住まわれる聖霊が、救いの確信を強めていってくださる。

■ 主イエスが、再び来られる日を待ち望み、歩んでいこう。  
「マラナタ。主イエスよ。来てください。」

「天のお父さま。

わたしは、御子(みこ)イエス・キリストが、

- ①わたしの罪(つみ)を贖(あがな)うために十字架で死に、
- ②墓(はか)に葬(ほうむ)られ、
- ③三日目に復活(ふっかつ)したことを信(しん)じます。

イエス・キリストは、栄光(えいこう)の姿(すがた)で戻(もど)ってこられ、すべてを正しく裁(さば)き、世界を完全(かんぜん)に回復(かいふく)されます。主(しゅ)よ。来てください。

感謝(かんしゃ)して、主(しゅ)イエス・キリストの御名(みな)によって祈ります。 アーメン」